2019 福缶

日本の縁起物

仙台張子 亥
宮城県 仙台市
仙台では毎年、和紙の柔らかい表情を活かしたかわいらしい首振りの干支人形がつくられ親しまれています。十二支は古代中国で時を表す単位として用いられており、文字の読めない庶民にも理解できるよう動物の名をあてはめたといわれ、現代にも息づく信仰の対象となっています。
高橋はじめ工房
〒980-0001 宮城県仙台市青葉区中江 2-8-5　TEL 022-222-8606

ダルマ抱き招き猫
埼玉県 越谷市
埼玉県は大都市江戸に近かったことから、玩具の一大生産地として栄え現在に至っています。中でも越谷市は郷土張り子の一大生産地として知られ、今でも職人が一つ一つ手書きで絵付けをしています。
鈴幸人形店
〒343-0025 埼玉県越谷市大沢 4-6-52　TEL 048-976-2266

金沢張子 招福ねこ
石川県 金沢市
金沢に数多くある玩具は、江戸時代後期に加賀藩の下級武士の手内職として広まり、正月の市や祭礼の際に売られていました。　丸みを帯びて愛嬌たっぷりにゆらゆらと首を振る猫の姿は福を招くものとしても愛玩されています。
(株)中島めんや
〒920-0902 石川県金沢市尾張町 2-3-12　TEL 076-232-1818

近江だるま
滋賀県 東近江市
近江だるまは滋賀県の琵琶湖近くで大正時代からつくられています。中仙道を往来する人々でにぎわった近江では、「小幡でこ」や「大津絵」など京都の伏見人形の影響を受けているといわれるものが数多くあります。近江だるまの画風はその大津絵と共通する面白さがあり、愛嬌のある表情は古くから人々に親しまれてきました。
近江だるま保存会
〒521-1224 滋賀県東近江市林町 43-2　TEL 0748-42-0195

下川原焼土人形 鳩笛
青森県 弘前市
下川原焼は日用雑器をつくる津軽藩の御用窯でした。当時の藩主が津軽の地に玩具が少ないことを憂い、冬期の閑暇を利用して土人形をつくることを命じました。以来約二百年間、鳩笛や干支笛などさまざまな人形がつくられており、津軽を代表する縁起物として人々から親しまれています。
阿保 正志
〒036-8083 青森県弘前市新里字上樋田 85-2　TEL 0172-27-3766

弥治郎こけし 椿
福島県 いわき市
こけしは昔、木地師が子どもに与えた玩具が発祥で、次第に湯治場のお土産ものとして東北地方で盛んにつくられるようになりました。伝統こけしには現在十一の系統があり、弥治郎こけしは宮城県の弥治郎地区で誕生しました。頭のベレー帽のようなろくろ模様が特長で、少女の愛らしい表情が見る人の心を和ませます。
木地処さとう
〒970-8022 福島県いわき市平塩字徳房内 92-3　TEL 0246-22-0246

芝原人形 宝珠狐
千葉県 長生郡
宝珠とは願い事が叶えられる縁起物です。狐は古来より農業、商売の神様の稲荷大明神の使いとされ、稲荷神社の入り口には宝珠を咥えた狐がいます。大きな宝珠と狐、二つの縁起が合わさった大変めでたい人形です。
芝原人形 草の子窯
〒297-0154 千葉県長生郡長南町岩撫 44-1　TEL 0475-46-0850

甲州親子だるま
山梨県 甲府市
400 年以上の歴史がある甲州だるま。生糸と綿の産地であった山梨では、豊作を祈り白いだるまを祀る習慣が広まり「木綿だるま」とも呼ばれていました。後にうまれた親子だるまは、家内安全、子孫繁栄を祈り、腹に子どもを抱いています。神棚に祀った際に、拝む人とだるまの親の目が合うよう、目線が工夫されています。
民芸工房がくなん
〒400-0062 山梨県甲府市池田 2-3-27　TEL 055-252-7661

伏見人形 亥
京都府 京都市
千本鳥居で有名な京都の伏見稲荷大社の門前には、古来より土師部が住み焼物をつくっていました。江戸時代に入ると参拝客の土産品として土人形が珍重されるようになり、その技法は全国に伝わっていきました。今では国内に 90 種類以上ある土人形の元祖であるといわれています。
丹嘉
〒605-0981 京都府京都市東山区本町 22-504　TEL 075-561-1627

六原張子 起き上がり小法師 鯛もち猫
岩手県 胆沢郡
張子は通常木型などの外側に和紙を貼って作成しますが、六原張子は凹型の型に成島（なるしま）和紙を丹念に張り付ける「内張り」という技法が用いられます。起き上がり小法師人形は、震災の苦しみから立ち上がれるように、との願いを込めてつくられています。
さわはん工房
〒029-4501 岩手県胆沢郡金ヶ崎町六原東町 50-36　TEL 0197-43-3397

白河だるま
福島県 白河市
300 年ほど前からつくられている白河だるまは、眉は鶴、ひげは亀、頬のぴんひげは松と梅、あごひげは竹を表す、大変縁起のよいだるまです。願いを込めて向かって右側の目に目玉を入れると必ず成就するといわれています。
白河だるま総本舗
〒961-0907 福島県白河市横町 30　TEL 0248-23-3978

とやま土人形 うそ
富山県 富山市
とやま土人形は、江戸時代末期から発展し、縁起物や民間信仰の神像、子どもの玩具など、様々な土人形がつくられ親しまれてきました。天神信仰が根付いている富山県において、鷽（うそ）は天神様（菅原道真）の使いといわれ、天神様を飾る時に一緒に並べる縁起物となっています。
とやま土人形伝承会
〒930-0881 富山県富山市安養坊 1118-1　TEL 076-431-4464

上田獅子
長野県 上田市
上田獅子（常田獅子、房山獅子）は、真田幸村の父、昌幸が上田城を築城する際、地固めの式で舞われた伝統的な獅子舞です。上田では大正時代の農民美術運動により木彫りの手工芸が盛んに広まり、上田獅子の木彫りを縁起物として慶事などに贈り合う習慣があります。
クラサワ工房
〒386-0411 長野県上田市生田 2085　TEL 0268-42-4685

大阪張子 虎張子
大阪府 柏原市
大阪張子は子どもの成長を祈る玩具として室町時代から親しまれてきました。日本で初めて毘沙門天が現れたとされる信貴山（しぎさん）の 朝護孫子寺（ちょうごそんじ）では、張子の虎がお守りとして授与され、大阪張子を原型とした「世界一福寅」も親しまれています。大阪では5月5日の端午の節句に、兜とともに張子の虎を飾って男の子の成長を祝います。
大阪張り子工房 峯商店
〒582-0007 大阪府柏原市上市 1-4-12　TEL 072-973-0423

張子 亥
岩手県 花巻市
宮沢賢治の生誕地としても知られる岩手県花巻市。豊かな文化を育み、古くからの伝統が息づくこの地では郷土玩具も数多くつくり続けられています。節句や年中行事に合わせ、人々は様々な願いを込めて人形を飾ってきました。新年を迎える準備として、その年の守り神である干支の人形を飾ることで一年間家を守ってくれるといわれています。
小田島民芸所
〒025-0098 岩手県花巻市材木町 10-20　TEL 0198-23-4856

三春張子 うり坊
福島県 郡山市
三春で張子人形がつくられ始めたのは、一説によると三百数十年前。京都の伏見人形が三春地方に伝わり、高柴村の人々がそれを真似、副業として張り子人形をつくり始めました。今でも「高柴デコ屋敷」と呼ばれる集落で様々な郷土玩具がつくられています。このふっくらとした亥は干支人形として広く親しまれています。
彦治民芸（有）
〒963-0902 福島県郡山市西田町高柴字舘野 80-1　TEL 024-972-2412

五箇山和紙 紙塑民芸品 亥
富山県 南砺市
世界遺産の合掌造り集落で有名な富山県五箇山では古くから手漉き和紙の生産が行われていました。和紙生産の際に出る原料の端材を再利用し、手づくりの紙粘土に加工します。紙粘土を型に押し込み、形づくって着彩したものが紙塑人形で、伝統的な獅子頭や干支の人形など愛らしい縁起物がつくられています。
農事組合法人五箇山和紙
〒939-1923 富山県南砺市下梨 148　TEL 0763-66-2016

猿ぼぼ
岐阜県 高山市
岐阜県飛騨地方では赤ん坊のことを「ぼぼ」といいます。猿ぼぼは猿の赤ん坊の人形で、古くは親が子の成長を願いながらつくり、玩具として子どもに与えたものです。赤は魔除け、疫病除けの色として、かつての女性のお腰（着物の下に着ける下着）にも使われ、猿ぼぼはお腰の生地でつくられていました。
円空洞
〒506-0025 岐阜県高山市天満町 6-7　TEL 0577-32-1385

張子 ししおどし
奈良県 香芝市
「ししおどし」は、鳥獣を追い払うための農具の一種である「鹿威し」がルーツとなっているそうです。そしてこの張子は、災いを避け、すこやかに暮らせるようにと願いが込めて作られており、障害のある人の新しい仕事を生み出す拠点「Good Job! センター香芝」のオリジナルマスコットにもなっています。郷土玩具の新しい可能性として、3D プリント技術と手仕事を組み合わせて制作されています。
Good Job! センター香芝
〒639-0231 奈良県香芝市下田西 2-8-1　TEL 0745-44-8229

堤人形 鯛のり寄り添い猫
宮城県 仙台市
堤人形は伊達政宗公の時代に藩内の産業発展のため始まりました。現在でも当時の型を使ってつくられており、千数百個にのぼる土型の一部は、仙台市の有形文化財に指定されています。
つつみのおひなっこや
〒981-0912 宮城県仙台市青葉区堤町 2-10-3431　TEL 022-233-6409

中湯川人形 来らんしょ亥
福島県 会津若松市
会津若松市の山中でつくられる中湯川人形は、数多くの型があり、それぞれ個性的な表情を楽しむことができる土人形です。「こらんしょ」とは当地の言葉で「どうぞ、こちらにお出でください」という意味。三つ指をついて福を歓迎する、招福の干支人形です。
工房 千想
〒965-0815 福島県会津若松市東山町中湯川 256　TEL 0242-28-1640

金沢張子 亥
石川県 金沢市
金沢に数多くある玩具は、江戸時代後期に加賀藩の下級武士の手内職として広まり、正月の市や祭礼の際に売られていました。千支張子は愛嬌たっぷりにゆらゆらゆれる起き上がりのかたちをしています。
(株)中島めんや
〒920-0902 石川県金沢市尾張町 2-3-12　TEL 076-232-1818

吉良の赤馬
愛知県 西尾市
吉良の赤馬は愛知県西尾市で 301 年以上前からつくられている練り物の人形です。有名な「忠臣蔵」では敵役として知られる吉良上野介は、この地では名君として親しまれており、赤馬に跨がって領内を巡視したと伝えられています。
吉良の赤馬
〒445-0014 愛知県西尾市つくしが丘 6-6-4　TEL 0563-52-4431

一刀彫 宝馬
和歌山県 田辺市
良質な木材の産地である紀州で育った桧を両面一刀彫でひとつひとつ丁寧に仕上げられた郷土玩具です。厄除の役の行者によって開山された救馬渓観音にちなんでおり、厄除けを果たす宝馬とされています。
文左
〒646-0028 和歌山県田辺市高雄 1-22-9　TEL 0739-22-9955

MUJI 無印良品

岩井温泉の十二支 亥
鳥取県 岩美郡
1300 年の歴史がある山陰最古の「岩井温泉」。江戸時代より木地師がろくろ挽きの食器などをつくってきましたが、温泉地のお土産ものとして、愛らしい干支の人形が親しまれるようになりました。素朴でユーモラスな表情をしています。
おぐら屋
〒681-0024 鳥取県岩美郡岩美町岩井 319　TEL 0857-72-0520

大谷焼 たぬき
徳島県 鳴門市
徳島県の鳴門市にある大谷焼は江戸時代から続いており、食器や置物、花器などがつくり続けられています。阿波狸合戦でも有名な、たぬきがモチーフになっています。振るとカラカラと鳴り、おなかの太鼓をたたいているようにも感じられます。
大谷焼 陶業会館 梅里窯
〒779-0302 徳島県鳴門市大麻町大谷字道の上 30-1　TEL 088-689-0048

のごみ人形 亥鈴
佐賀県 鹿島市
日本三大稲荷のひとつ、祐徳稲荷神社の参道で売られるのごみ人形。染色家であった初代は鍋島藩に伝わる木版更紗の技法の復刻につとめ、一方で第二次世界大戦後の世の中を明るくしたいという想いから土人形をつくり始めました。
のごみ人形工房
〒849-1314 佐賀県鹿島市大字山浦甲 1524　TEL 0954-63-4085

佐土原人形 猪からい犬
宮崎県 宮崎市
佐土原人形は 400 年ほど前朝鮮から来ていた陶工に習ってつくられたのが始まりと言われています。明治時代初期から大正時代に盛んにつくられるようになり、多くの人に親しまれてきました。「からい」とは宮崎県の方言でおんぶするという意味で、犬が今年の干支の猪をおんぶしている人形です。
佐土原人形店 ますや
〒880-0301 宮崎県宮崎市佐土原町上田島 1396-10　TEL 0985-74-4349

木彫り 福亥
岡山県 英田郡
岡山県のヒノキで、ひとつずつ作られた干支の福車です。森を受け継ぎ、育ててきた土地ならではのヒノキは、美しい木目と香りを楽しめます。無病息災の象徴である亥が走ると、まわりに福が回るという想いが込められた、縁起の良い干支の車です。
(株)ようび
〒707-0502 岡山県英田郡西粟倉村坂根 43　TEL 0868-75-3223

鳥取のえと 亥
鳥取県 鳥取市
鳥取のえとは針葉樹でつくられる木彫りの干支人形です。古くから民藝や手工芸がさかんな土地柄もあり、戦後から、伝統的な流し雛づくりの傍らでつくられてきました。モダンな色使いや愛らしい表情が特徴の亥です。
信夫工芸店
〒680-0015 鳥取県鳥取市上町 116　TEL 0857-23-0506

高松張子 うり坊
福岡県 福津市
優しい色使いで丁寧に仕上げられた干支の張子です。高松市内には江戸時代から玩具や人形をつくる店が多くあり、張子の人形は子どもの遊び道具や、子どもの病気の身代わりや魔除けとして用いられてきました。
張子工房ウスイ
〒761-8012 香川県高松市香西本町 33-7　TEL 087-882-6367

古賀人形 ホーホー鳥
長崎県 長崎市
京都の伏見人形、宮城の堤人形と並び、日本三大土人形に数えられる長崎の古賀人形の創業は 1592 年。鮮やかな色彩を用い、西洋人や支那人を表した人形も数多くあります。この集をモチーフとした土人形も、福を招く縁起物として広く親しまれています。
小川 憲一
〒851-0103 長崎県長崎市中里町 1533　TEL 095-838-3869

帖佐人形 猫
鹿児島県 姶良市
帖佐人形の歴史は古く、1597 年慶長の役の朝鮮出兵の帰途、島津義弘と共に渡来した陶工達が、帖佐村に窯を築き帖佐焼を始めると共に、人形の製作も始め地元民に継承したのが創始とされています。目に鮮やかな色彩は、いかにも縁起がよく、桃の節句や端午の節句など節目の日に縁起物として贈られる風習があります。
帖佐人形窯元
〒899-5431 鹿児島県姶良市西餅田 1372　TEL 099-227-7514

ぶらぶら達磨
福岡県 福岡市
伝統的な技法を用いながらも、現代的な要素も含んだダルマの制作を行うヤチコダルマ。かわいらしい表情に手足の生えただるまは、吊り下げることで手足がぶらぶらと揺れ動きます。
やちこダルマ
〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通 5-13-3-501　TEL 090-8404-9664

高崎だるま
群馬県 高崎市
少林寺達磨寺で七草の縁日に売り出されたのが縁起だるまの始まりです。まゆは鶴、ひげは亀を表し、転んでも起き上がることから、七転び八起きの縁起物として大切にされてきました。片方の目に願を掛け目入れし、願いがかなうと残りの目を入れる風習は、養蚕農家から広まりました。
吉田だるま店（株）
〒370-0868 群馬県高崎市鼻高町 43-7　TEL 027-327-4927

土佐木彫 鰹車
高知県 高知市
100 年程前の捕鯨漁が盛んだった頃、土佐の漁師は長旅のなかでヒマを見つけては、様々な魚玩具を作って家族に持ち帰っていました。土産らしいものは何一つない土地だったため広まった文化でしたが、離れた故郷の妻や我が子を想って作り出された手作りの手土産には、豪気な海の男の中に隠れる家族への愛情が込められています。
とさ民芸店・ちゃまみギャラリー
〒780-0833 高知県高知市南はりまや町 1-15-7　TEL 088-882-0171

高崎招き猫
群馬県 高崎市
だるまで有名な高崎市の豊岡町で作られている招き猫です。焼き物の招き猫が多い中、数少ない張子の招き猫が作られてきました。数多くあった工房も今では数件となってしまったそうですが、今もなお大小様々な招き猫が作られています。左手をあげている招き猫は縁や人を招くと言われています。
三代目 だるま屋 ましも
〒370-0861 群馬県高崎市八千代町 2-4-5　TEL 027-386-4332

尾崎人形 カチガラスの土笛
佐賀県 神埼市
尾崎人形は 13 世紀末の元寇の役より この地に住み始めた大陸の捕虜が、故郷を偲びつくりはじめたと言い伝えられてきました。この土笛のモデルとなるカチガラスは “カチカチ” という鳴き声がすることから、”勝ち” に繋がるとされ、古来より大変縁起の良い鳥とされています。
高柳 政廣　〒842-0015 佐賀県神埼市神崎町尾崎 546
TEL 0952-53-0091

赤べこ
福島県 会津若松市
会津地方では牛のことをベコと呼びます。千二百年程前会津柳津・福満虚空蔵尊圓蔵寺の建立の際、最後まで働き通したのが赤色の牛と伝えられています。その赤色の牛にあやかり昔から子供の誕生には壮健を祈りまた疫病除としても贈られ、親しまれています。
（有）民芸処番匠
〒965-0811 福島県会津若松市和田 1-6-3　TEL 0242-27-4358

玉島だるま
岡山県 倉敷市
西日本では数少ないだるまの産地である玉島地区の玉島だるまは、戦後から生産が始まりました。起き上がりこぼしのような郷土玩具として幅広い世代に親しまれ、子どもの健やかな成長を願ったり、合格を祈願したりする願掛けだるまとして広く利用されています。
玉島だるま虎製造所
〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島 915-7　TEL 086-522-3753

土佐漆喰人形 あかくじら
高知県 吾川郡
土佐では昔からとても身近な存在であった土佐和紙と漆喰を使い、裏彩色という技法で着色された人形です。また、モデルとなった鯨も昔から人々に信仰されるなど、馴染みの深い存在でした。生命力溢れる赤色の着色が施された鯨には、健康祈願の想いが込められています。
草流舎
〒781-2110 高知県吾川郡いの町 3811　TEL 088-892-1045

木の葉猿 団子猿
熊本県 玉名郡
1301 年前、木葉山の赤土で祭器をつくり、残りの土を捨てたら猿に化したという伝説から生まれたと伝えられる木葉猿。魔除け、災難除け、安産、子宝、子孫繁栄の守り神として古くから親しまれています。型を使わず指先だけで粘土をひねってつくられ、茶色い肌は素焼きそのままの素朴な風合いとなっています。
木の葉猿窯元
〒869-0303 熊本県玉名郡玉東町木葉 60　TEL 0968-85-2052

下浦土玩具 めじろおし
熊本県 天草市
天草の鳥でもあるメジロが集う「めじろおし」は、賑々しく地域の未来が栄えていってほしいという願いが込められた縁起物です。300 年以上受け継がれてきた「天草土人形」を大切に残したいという思いから、天草石工や陶工と、デザイナーのチームでつくられています。
パワープレイス株式会社
〒104-0033 東京都中央区新川 2-4-7　TEL 03-3555-4057

三原だるま
広島県 三原市
人のこぶし大のだるまは「にぎりだるま」と呼ばれ、「願いが成るように」と鳴り物の鈴や小石をいれ、頭が細長く豆絞りの鉢巻をしています。古くは江戸時代から続く三原神明市でだるまを家族の人数分買い求め、だるまの裏にめいめいの名前を書いて神棚に供え、安全と繁栄を祈ったという言い伝えがあります。
一般社団法人三原観光協会
〒723-0014 広島県三原市城町 1-1-1　TEL 0848-63-1481

長州土鈴 米俵乗りいのしし
山口県 美祢市
米俵に乗ったいのししは豊かな実りの象徴とされ、五穀豊穣を祈念する縁起物とされています。振るとコロコロと素朴な音色が鳴る土鈴は、古くより神仏が宿るとされ魔除けとして用いられてきました。
有限会社 民芸くらもと
〒754-051 山口県美祢市秋芳町秋吉 614　TEL 0837-62-0208

筑前津屋崎人形 フク笛
福岡県 福津市
福岡や山口では、河豚のことを“フク”と言い、“福”に通じるとされています。フク笛は、ふっくらとしたフクをかたどった土笛で、音がするおもちゃとして地元で人気があります。尾のところを吹くと“ほうほう”と優しい音がします。
筑前津屋崎人形巧房
〒811-3304 福岡県福津市津屋崎 3-14-3　TEL 0940-52-0419

めじろ笛
大分県 別府市
温泉どころとして有名な別府市で、廃絶した郷土玩具をの復刻を手がける豊泉堂大分の県鳥であるめじろに県花の梅の花を描いた土笛は、明るい春の訪れを感じさせます。
豊泉堂
〒874-0842 大分県別府市小倉 1-1　TEL 0977-21-1040

ニポポ
北海道 網走市
アイヌ語で「小さな木の子ども」を意味する木彫り人形です。ニポポに願いをかけると必ずかなえてくれるといわれ、山での狩りや海の漁に出る際にお祈りし、収穫があると美しい飾りをかけて感謝しました。60 年ほど前から網走刑務所内で更正を誓う受刑者により全て手彫で丹念につくられています。
（社）網走市観光協会
〒093-0003 北海道網走市南 3 条東 4 丁目 5-1　TEL 0152-44-5849

御殿玩具 福良雀
京都府 京都市
御殿玩具は江戸時代、公家の姫が宮中で遊ぶ玩具として発展しました。植物などの細密な絵柄を施し頭には宝珠が描かれています。福良雀は、富と繁栄を願い縁起のよい文字を当てられています。丸々と太った雀は豊かさの象徴とされていました。
御所人形 島田耕園
〒605-0826 京都府京都市東山区桝屋町 351　TEL 075-561-7407

MUJI 無印良品